

# 東日本大震災を教訓とした 防災対策への新たな取組み

石巻市

総務部危機対策課・防災推進課

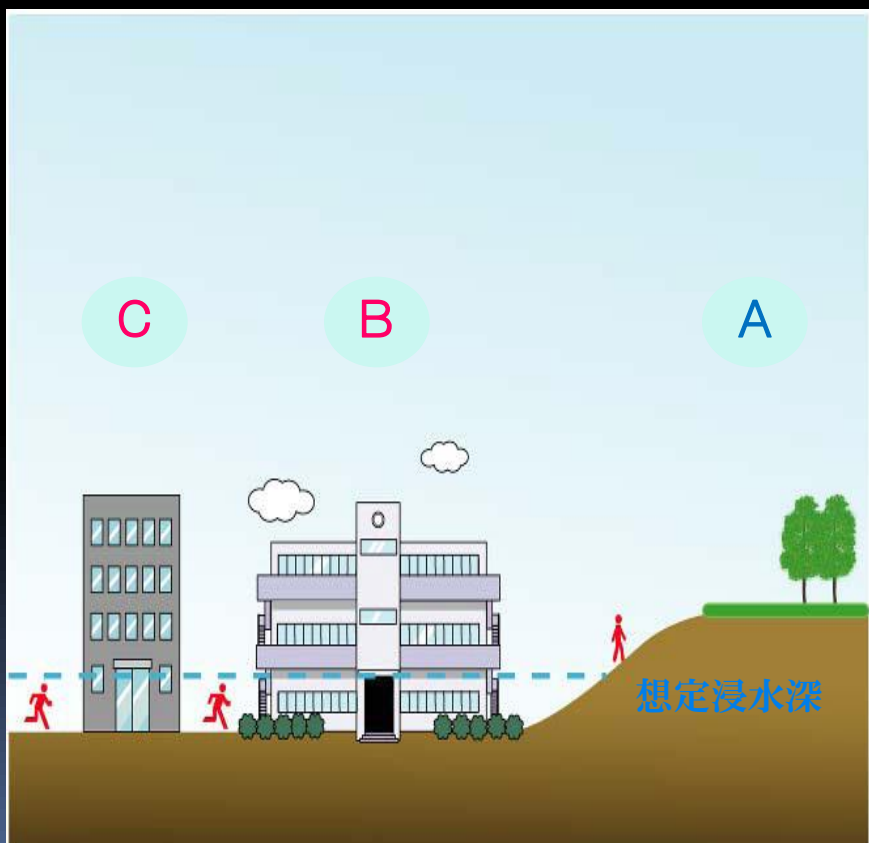
# 東日本大震災を教訓とした防災対策への新たな取り組み

津波災害に対する「避難所等」を見直しました。

## 新しい避難所の区分

立地条件	名 称		例
浸水想定 区域外	避難生活避難所	A	学校、公共施設
	津波避難場所		高台
浸水想定 区域内	緊急一時避難所	B	学校、公共施設
	津波避難ビル	C	民間事業所ビル
	津波避難タワー		公共タワー

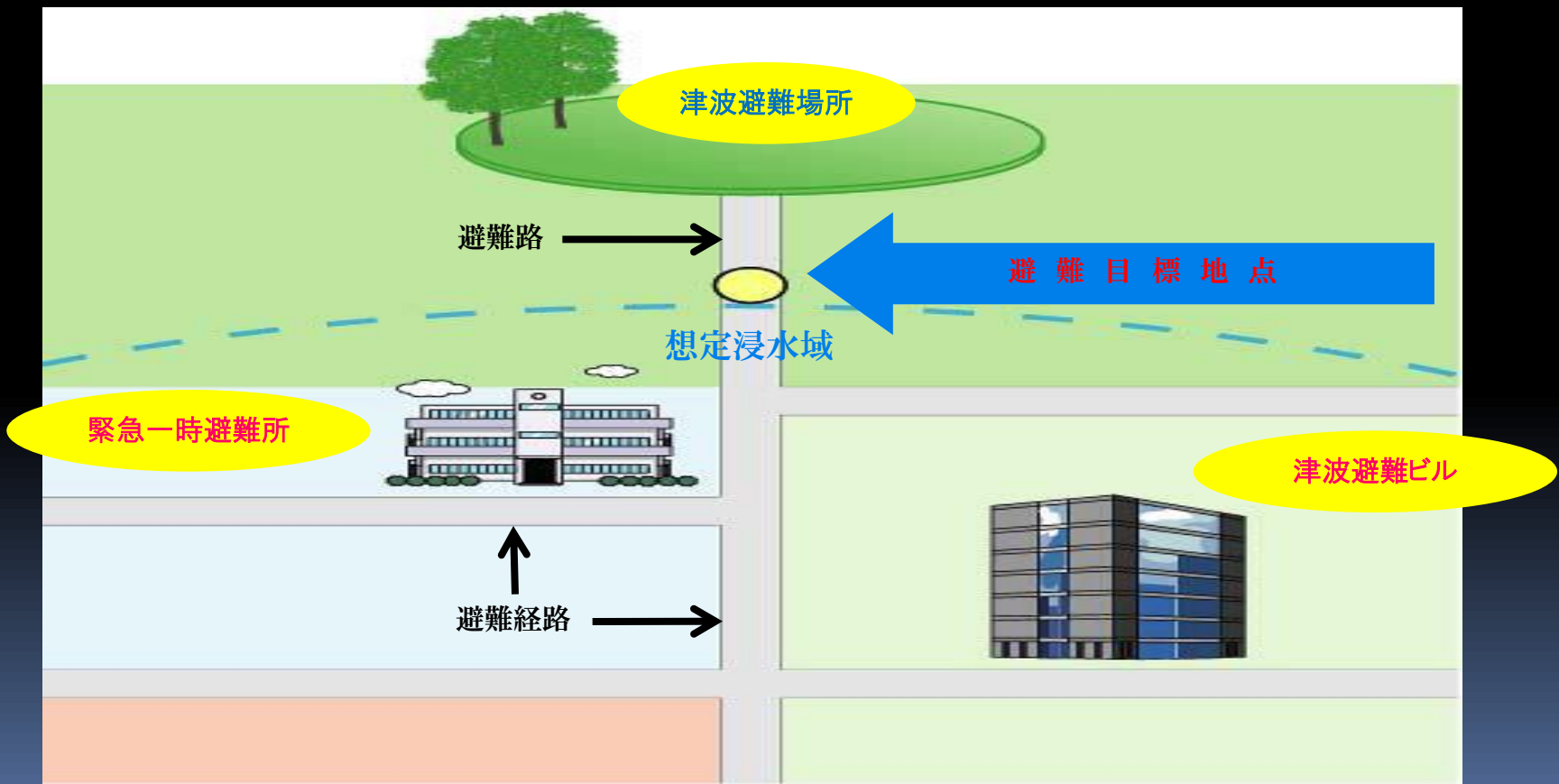
## 例（断面図）



# 東日本大震災を教訓とした防災対策への新たな取組み

津波から避難するときの考え方です。

例（平面図）



# 東日本大震災を教訓とした防災対策への新たな取り組み

市民の皆様への「災害情報の伝達手段」を多層化しました。



- 防災行政無線のデジタル化統合（屋外子局の設置）

- 衛星系通信手段の確保（孤立想定61集落への配備）

- 災害情報のプッシュ配信（緊急速報メール配信、登録制Eメール配信）

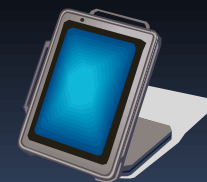
- 災害情報テレホンサービス



- 全国瞬時警報システム「J-ALERT」の導入

- 災害に強い情報連携システム「ORANGE」による情報提供

- コミュニティFM放送中継局の設置（平成26年度開始予定）





# 東日本大震災を教訓とした防災対策への新たな取組み

避難施設の機能を強化しました。

- 非常用電源の確保（自家発電設備の新規設置、電気管理設備の高所化、太陽光発電の導入）

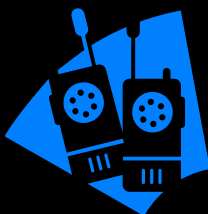
- 通信機能の確保

- 用水の確保（受水槽の設置、中水利用の検討）

- バリアフリーへの対応

- ヘリポートの整備

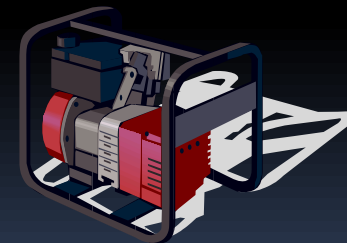
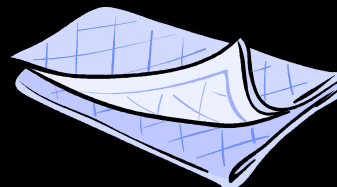
- 誘導表示板の設置



# 東日本大震災を教訓とした防災対策への新たな取組み

避難施設への備蓄配備を強化しました。

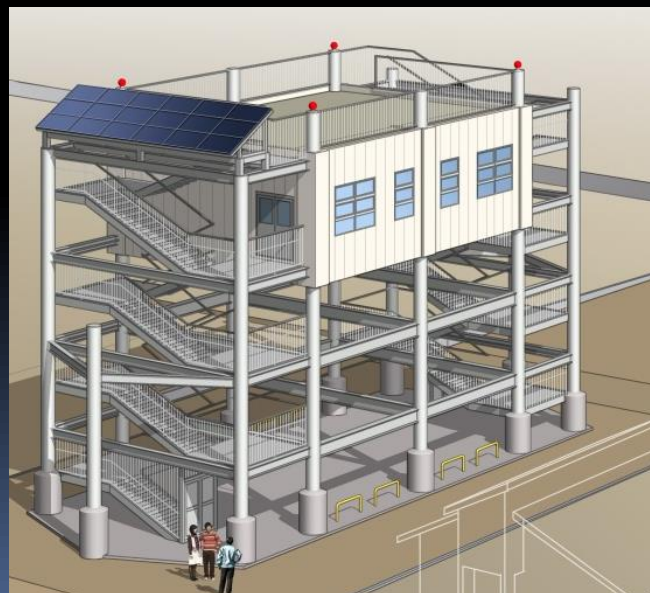
- 災害用備蓄の配備
- (非常用食糧 50,000食)
- (非常用飲料水 50,000ℓ)
- (毛布 約30,000枚)
- (発電機 全避難所)
- (災害用トイレ 全避難所)
- その他 . . .



# 東日本大震災を教訓とした防災対策への新たな取り組み

避難困難な区域に「津波避難タワー」を整備します。

- 避難困難区域を解消するための公共整備
- 浸水想定水位以上の高さに避難上有効な場所を確保
- 誘導照明灯、備蓄品、太陽光発電装置、蓄電設備を設置
- 通信手段の確保



# 東日本大震災を教訓とした防災対策への新たな取組み

## 津波避難ビルの指定

- 避難困難区域を解消するための民間整備
- 整備事業費を補助（上限額10,000,000円）
- 補助対象は、外付け階段、屋上フェンス、屋上デッキ、自家発電・蓄電設備、案内表示板、誘導照明灯、備蓄品倉庫等





# 東日本大震災を教訓とした防災対策への新たな取組み

消防署所を再編し、消防力を強化します。

- ・石巻東消防署の新設  
(石巻消防署湊出張所及び渡波出張所の統合による)
- ・石巻消防署西分署の新設  
(石巻消防署中央出張所の廃止による)
- ・女川消防署牡鹿出張所の復旧
- ・河北消防署北上出張所の復旧
- ・女川消防署雄勝出張所の復旧



市では  
防災対策への新たな取組みにより  
ひとりの犠牲者も出さぬよう  
市民の皆様の生命を守ってまいります。

しかし  
それには市民の皆様の協力が必要です。

それは・・・「避難すること」です。

常日頃  
複数の情報手段を持って いち早く災害情報を入手し  
いち早く安全な場所へ避難してください。